

新十津川町開拓記念館 展 小品紹介

映画に関係する古文書

令和4年公開予定の映画「峠 最後のサムライ」に関わる古文書が、新十津川町開拓記念館にあります。

戊辰戦争の中で、新潟県内で行われた戦いを北越戦争と呼んでいます。この北越戦争の中心人物が、長岡藩家老の河井継之助で、彼を描いた小説『峠』(司馬遼太郎著)が、映画「峠 最後のサムライ」の原作です。

・開拓記念館にある古文書はどのよう
に映画と関わっているのでしょうか？

・どうして、明治2年の北越戦争に
関する文書が、新十津川町にある
のでしょうか？



©2020『峠 最後のサムライ』製作委員会
配給：松竹、アスミック・エース

戊辰戦争

1868年(慶応4年・明治元年)から翌年まで続いた徳川幕府を支持する勢力と、新政府軍(薩摩、長州、土佐、肥後などの勢力)との戦いの総称。鳥羽伏見の戦い、彰義隊の戦い(上野戦争)、長岡藩との戦い(北越戦争)、会津藩との戦い、箱館戦争などを含みます。

『新十津川百年史』には、十津川郷士が戊辰戦争前に、徳川御三家の一つ紀州藩をけん制するために、高野山(紀伊国内)に650名が駆け付けたとあります。

十津川郷士は、その後の戊辰戦争に参加し、新政府軍が勝利することで、勝ち組みに入ることになりました。

北越戦争

譜代大名(徳川家に代々仕える藩)であった越後・長岡藩は、徳川方への義理立てを感じながらも、近代国家の必要性も感じ、戊辰戦争では中立の立場を取ると新政府軍に伝えます。

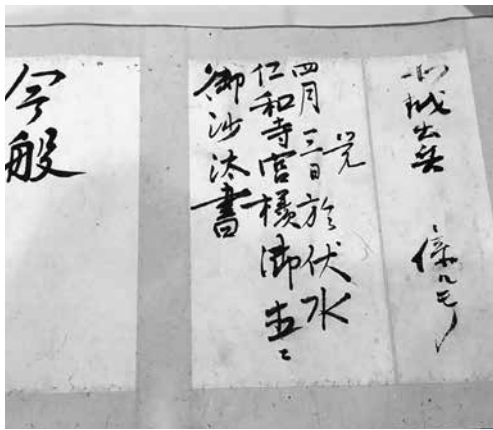
しかし、新政府軍は味方に付くか、そうでなければ武力による征服をすると脅したことから、新政府軍と長岡藩の戦争に発展します。これが北

越戦争です。河井継之助が洋式兵器や近代的兵式を整えてから戦争に臨んだことで、長岡藩は大軍を相手に1カ月以上の戦争を継続することになりました。

この戦争で、新政府軍は劣勢に立たされたので、京都伏見で新しい兵式の操縦訓練を受けていた十津川郷士にも出兵の命令が下ります。この北越戦争で、十津川郷士81名が戦死しました。

史料紹介「北越出兵の巻」

【史料A】



北越出兵ニ係ルモノ
覚
四月三日於伏水仁和寺宮様御直
二御沙汰書

※仁和寺宮 伏見宮家、新政府軍の提督

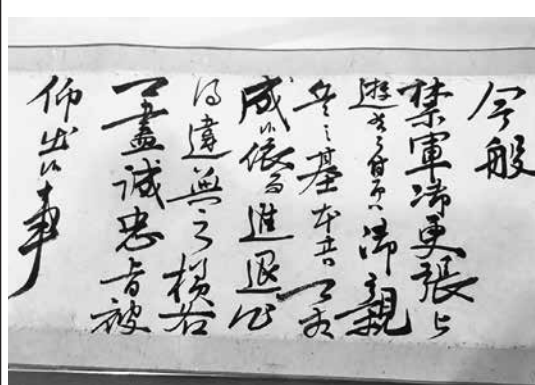
※沙汰 主君または官府の指令、指図

○現代語訳

北越(現代の新潟県)に出兵に係することの記録

4月3日、仁和寺宮様から命令があったことの書類である。

【史料B】



今般
禁軍御更張被
遊候ニ付而ハ御親
兵之基本共可相
成候依而進退心
得違無之様各可盡誠忠旨被
仰出候事

※禁軍 皇居守護の軍

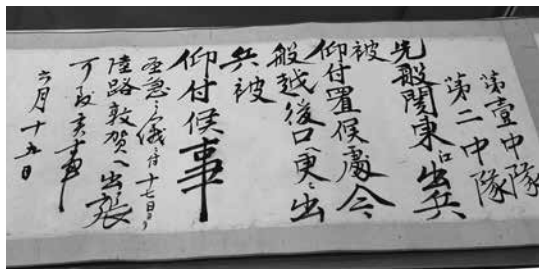
※更張^{シカサカ} 今まで緩んでいたことを改めて盛んにすること。

※御親兵 明治初年設置の天皇の護衛兵

(現代語訳)

このほど、皇居守護の軍として体制を立て直すため活動されてきたが、天皇の護衛兵の基本として誠忠を尽くすようにおっしゃった。

【史料C】



第壹中隊
第二中隊
先般関東江出兵被仰付置候處
今般越後口へ更に出兵被仰付候
事
至急之儀二付十七日ヨリ陸路
敦賀へ出張可致候事
六月十五日

※□ 先端、入り口

○現代語訳

以前に関東へ兵を出すように命令したが、今度は越後に兵を出すように命令する。

至急の命令であるので6月17日より陸路で敦賀(越前)に行くようにすること。

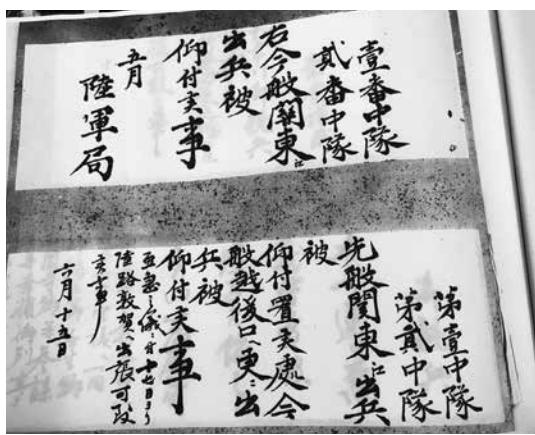
史料AからCで分かるように、仁和寺宮様からの命令で始まり、2つの十津川郷士による中隊が6月に福井県敦賀を経由して、越後に向かうように命令を受けています。映画「峠最後のサムライ」の新政府軍には、十津川郷士が描かれているかもしれませんが。

す 十津川村にも同じ史料があります

開拓記念館に所蔵している史料と同じもの(史料D)が十津川村にもあります。十津川村の古文書は巻物になっていませんが、新十津川町のもは巻物になっています。これは、令和2年10月号広報でお伝えした「郷中鎗役株究連判書並びに十津川郷鎗役四拾五人家筋書」(以下、家筋書)と同じく、書き写したものを十津川郷から持参したものです。この巻物で、十津川郷士が戊辰戦争で活躍したことや、新政府に貢献した

ことを証明することになりますので、持参の目的は自らのルーツと権利を明らかにすることでした。

【史料D】



「文久三癸亥以来 御由緒」(宝蔵文書 79の101 十津川村民俗歴史資料館所蔵)

由緒書

自らのルーツと権利を明らかにするための文書を由緒書^{ゆいしょ}といっています。「北越出兵の巻」と「家筋書」は由緒書に当たります。

由緒書で権利を明らかにすることで、利権を主張するためのものですが、従軍し活躍した父祖への尊敬があったことも考えられます。

十津川村からの移住者は水害に

遭ったため、北海道に向かう時には荷物を制約されたはずですが、そんな困難な時にも、このような由緒書をどうして持ってきたのか? いろいろな推論が出てきます。

開拓記念館には「?」や「!」があります。来年に公開される映画「峠最後のサムライ」に関連する史料も所蔵していますので、ぜひご来館ください。

協力 十津川村教育委員会

閉館期間 11月1日(月)〜4月30日(土)

※10月31日(日)まで開館しています。

問合せ 開拓記念館 ☎76・2622

